

事業計画開始年度	28	年度
目標年度	32	年度

農山漁村振興推進計画

(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)

【取組メニュー】

1. 地域資源活用対策

- ① 活動計画策定
- (2) 子ども農山漁村交流
- ③ 農山漁村における農林水産物の販売・加工
- ④ 農山漁村への定住促進
- (5) 農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム
- (6) 農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援
- ⑦ 農山漁村の地域提案型活動

2. 人材活用対策

地域資源活用対策の

事業実施主体名 佐久間地区活性化推進協議会

所在地(都道府県・市町村)

千葉県安房郡鋸南町

1. 事業実施主体等

事業実施主体(団体)名		取組地域の所在する都道府県・市町村		地区の範囲	
さくまちくかつせいかずいしんきようぎかい 佐久間地区活性化推進協議会		ちばけんあわぐんきよなんまち 千葉県安房郡鋸南町		旧小学校区	
集落名		佐久間地区(大崩区、奥山区、上佐久間区、中佐久間区)			
特定被災区域の市町村名					
代表者氏名		事業実施主体住所及び連絡先			
会長 内田 正司		〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458 TEL 0470-55-2111 Fax 0470-55-1342 E-mail nourin@town.kyonan.chiba.jp			
事務局(個人又は団体)		事務局所在地及び連絡先			
鋸南町地域振興課農林水産振興室 (担当 金木 拓也)		〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458 TEL 0470-55-4805 Fax 0470-55-0421 E-mail nourin@town.kyonan.chiba.jp			
構成員となる個人及び団体	法人形態等	主な活動	所在地 (市区町村)	設立年	構成員数 (従業員数)
鋸南町	行政機関	地域振興課	鋸南町	—	—
鋸南町農家組合長会 (佐久間地区)	地域住民団体	各農家との連絡調整	鋸南町	—	347戸
佐久間アグリサポート	地域住民団体	農作業体験受入	鋸南町	平成24年	8
佐久間ダム湖 観光生産管理組合	地域住民団体	佐久間ダム公園を 拠点とした観光推進	鋸南町	平成16年	23
をくづれ水仙郷 観光クラブ	地域住民団体	をくづれ水仙郷を 拠点とした観光推進	鋸南町	平成9年	20
山田 永太郎	個人	農業者(移住者)	鋸南町	—	—
保田小学校直売所 出荷組合	地域住民団体	道の駅保田小学校 直売所への出荷販売	鋸南町	平成26年	169
取組において連携する個人及び団体	法人形態等	主な活動	所在地 (市区町村)	設立年	構成員数 (従業員数)
鋸南町有害鳥獣 対策協議会	農林漁家団体	有害鳥獣対策活動	鋸南町	平成17年	84
鋸南町雇用創造 協議会	官民連携組織	実践型地域雇用創造事業	鋸南町	平成27年	15
「ようこそ鋸南」 プロジェクト	地域住民団体	都市農村共生・対流総合 対策交付金事業	鋸南町	平成26年	9
安房農業協同組合 鋸南支店	農業協同組合	農業協同組合	鋸南町	平成8年	—

<p>地域指定等の状況</p> <p>(取組メニューの1の(3)に該当する事業を実施する場合)</p>	<p>地域振興8法等の指定状況 (ア～ケの要件)</p>	<p>地域指定名</p>		<p>該当集落名 (集落数)</p>	
		<p>ケ. その他の理由</p>			
	<p>小規模・高齢化集落の状況 (コ又はサの要件)</p>	<p>該当集落名</p>	<p>該当要件</p>	<p>戸数又は 高齢化率</p>	<p>算定根拠 (高齢化率の場合)</p>

2. 地区の現状・課題と将来像等

<p>地区の現状・課題</p>	<p>1. 事業実施地区の現状について 千葉県安房郡鋸南町は房総半島の南西部に位置し北に鋸山を東側に嶺岡山系を背負い、里海から里山までの起伏に富んだ海岸線や稜線が印象的な町である。昔から「鋸山を越えると肌着が一枚いらぬ」と言われるほど温暖な気候に恵まれ、北国で雪の便りが聞かれる12月には水仙が、2～3月には頼朝桜(河津桜)が咲き乱れるなど観光資源にもなっている。 文化・歴史面では「見返り美人」で有名な浮世絵の祖と呼ばれる菱川師宣生誕の地、日本一大きな石仏が鎮座し南房総有数の観光地である鋸山の日本寺、夏目漱石の避暑地が有名で、企業や学校の保養所も多い。また、町民同士は互いを名前や屋号で呼び合い、祭りも多く、景観維持・地域ガイド・グルメイベントなどの活動も盛んで、自然・文化・歴史すべての面で日本の原風景らしさが残っている。 また、鋸南町の人口は昭和35年には15,131人(国勢調査)であったが、東京一極集中の傾向などもあり平成27年10月現在8,024人(国勢調査)まで減少している。また、高齢化率についても、昭和35年には8.6%であったが、平成27年4月現在は42.9%まで増加しており、人口減少、高齢化が進んでいる。 佐久間地区は、中佐久間・上佐久間・奥山・大崩の4地区で構成され、鋸南町の南東部を占める中山間地域であり、のどかな農村風景を色濃く残す地域である。人口は948人、高齢化率は46.0%であるが、特に東部の山間部である奥山地区では24歳以下の世代がいない、限界集落となっている。</p> <p>2. 事業実施地区の課題 本町の総人口は平成27年10月現在8,024人(国勢調査)で、前回平成22年からの人口減少率は-10.35%で千葉県下でもっとも高く、今後も人口の減少が見込まれ、地域内外の交流人口の増加を図ることが重要な課題となっている。 交通面では、本町の西部をJR内房線、一般国道富津館山道路、国道127号が南北に走っているほか、県道34号鴨川保田線他2路線などの自動車交通網の整備に伴う産業構造の変化によって、第3次産業就業者が増加する一方で、農業においては、販売農家が昭和60年では864戸(農林業センサス)だったものが平成27年には276戸となり、30年間で3分の1に減少している。 このように本町は社会経済情勢の変化に伴う産業構造等の変化により、第1次産業から他産業へのシフトがみられ、若年層の地域外流出、農業従事者の高齢化、担い手の減少など農業を取り巻く環境は厳しくなっている。このままでは農業生産活動が困難となり、耕作放棄地の増加による多面的機能の低下、集落機能の衰退が懸念されるなどの地域課題が顕在化している。 このことから、今後は、地域の豊かな自然環境、歴史、文化、伝統などを守りつつ、農工商連携による地域内の広域的な取組みと都市との交流拡大を目指し多様な主体による交流・連携が活発な地域の実現が求められている。</p> <p>3. 課題に対するこれまでの取組状況 ●都市交流施設 道の駅 保田小学校(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金/鋸南町) 保田地区において地域コミュニティの核となってきた「町立保田小学校」が平成26年3月で廃校となり、地域活力の減退、地域内のつながりの脆弱化が懸念されていた。このため、新たな「コミュニティの核となる施設」としての再生をはかるとともに、都市と農山漁村の交流拠点を目指すためリノベーションを実施、平成27年12月に「都市交流施設」として生まれ変わった。直売所や店舗には地域の人たちが集う地域の交流拠点として機能し、賑わいを見せている。 ●狩猟エコツアー(地域住民生活等緊急支援のための交付金/鋸南町有害鳥獣対策協議会) 本町では、近年、野生獣による農作物被害が深刻化し、さらに将来的には担い手の不足が懸念されている。そこで、平成27年度からこれらの獣害を逆手にとり、担い手確保のためのきっかけづくりを目的とした狩猟の魅力を伝えるツアーを開催。都市住民に対し鳥獣被害の対策の現状・苦勞を知ってもらい、都市との交流を深め、里山保全に対する意識醸成を図る取組みを展開している。</p>
<p>地区の将来像</p>	<p>本町の一部地域では、移住者が農業に従事し農地の保全に貢献している事例もあり、先述の「都市交流施設 道の駅 保田小学校」は、農産物の新たな販路として期待できる。一方で、当地区では、高齢化・担い手不足により、自家消費程度の耕作に留まる農家、集出荷の手段が途絶える農家も出現しており、耕作放棄地も増加している。 今後は、農業振興と移住・定住施策の一体的推進により、地域の活性化を図る。その基盤づくりとして、本事業では移住者を中心として移住・定住に関する受入・支援体制の整備を図り、二地域居住や移住・定住を促進する。また、保田小学校への出荷を前提とした農産物の庭先集荷や地域一体となつての観光交流拠点での販売などの推進による農業者の収益増、負担軽減、地域ぐるみでの鳥獣被害対策の推進に努める。これにより、農業の振興、観光交流の強化、都市との交流・連携を総合的に実施し、活気あふれる農村集落の創出を図る。</p>

<p>地域資源活用対策において当該メニューの取組を選択した理由</p>	<p>(3) 農山漁村における農林水産物の販売・加工道の駅保田小学校等を販路として活用し、新たな農作物の導入や農業者の出荷に係る負担軽減を図ることで生産拡大による農地の有効活用を推進するため。 (4) 農山漁村への定住促進 平成20年に地域コミュニティの核であった町立佐久間小学校が閉校、これ以降、住民間のつながりの希薄化が心配されている。今後の地域コミュニティの維持には移住や二地域居住などの促進を図り、地域の担い手拡充が必要なため。 (7) 農山漁村の地域提案型活動 当地区では鳥獣被害により耕作放棄地が増加している。このため、持続可能な農業の確立を推進するためには、地域ぐるみの鳥獣被害対策が必須であるため。</p>																					
<p>重点対策の取組内容 (公募要領第8の2の(1)のウの取組を選択した地区のみ)</p>	<p>① 農山漁村の共生・対流等に係る各省連携プロジェクトに関連した取組 ② その他、重点的な活動の推進を図る取組</p>																					
<p>人材活用対策を選択する理由</p>																						
<p>食と地域の交流促進対策交付金及び都市農村共生・対流総合対策交付金との関連性について (H27までに上記交付金を活用した団体等に限る(交付金の交付を受けていた時点から、今回新たに名称や構成員を変更した団体等も対象))。</p>	<p>【取組内容について】 「食と地域の交流促進対策交付金」、「都市農村共生・対流総合対策交付金」実施地区においては、本交付金で実施しようとする取組との違いについて具体的に記載をしてください。</p> <table border="1" data-bbox="453 1330 1291 1704"> <tr> <td>食と地域の交流促進対策交付金 都市農村共生・対流総合対策交付金 (実施年度:H〇年~H〇年)</td> <td>農山漁村振興交付金</td> </tr> <tr> <td>(取組内容及び成果について)</td> <td>(見直し内容について)</td> </tr> </table> <p>【目標の達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="453 1785 1150 2040"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">平成〇年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流人口(人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上げ(円)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雇用(人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の指標</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	食と地域の交流促進対策交付金 都市農村共生・対流総合対策交付金 (実施年度:H〇年~H〇年)	農山漁村振興交付金	(取組内容及び成果について)	(見直し内容について)	指標	平成〇年度		目標値	実績値	交流人口(人)			売上げ(円)			雇用(人)			その他の指標		
食と地域の交流促進対策交付金 都市農村共生・対流総合対策交付金 (実施年度:H〇年~H〇年)	農山漁村振興交付金																					
(取組内容及び成果について)	(見直し内容について)																					
指標	平成〇年度																					
	目標値	実績値																				
交流人口(人)																						
売上げ(円)																						
雇用(人)																						
その他の指標																						

目 標 (定量的指標数値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現在</th> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流人口(人)</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>100</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>売上げ(円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>330,000</td> <td>510,000</td> </tr> <tr> <td>雇用(人)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他の指標(具体的指標を明記)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>4年目</th> <th>5年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流人口(人)</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>売上げ(円)</td> <td>740,000</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>雇用(人)</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他の指標(具体的指標を明記)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[計測方法] ○交流人口 鳥獣被害対策講習会参加者(地区住民) 60人/回(H29～32 年1回) 鳥獣被害対策ボランティア体験会 参加者数 20人/回(H29～32 年1回) 移住・定住現地見学会 参加者数20人/回(H29 年1回、H30～32 年2回) ○売上げ(農産物庭先集荷による農産物販売額) 2年目(H29) 330,000円、3年目(H30) 510,000円、 4年目(H31) 740,000円、5年目(H32) 1,000,000円 ○雇用 農産物普及作業員 1名〔労働時間4時間/日、月20日程度、12か月〕(H29～32)</p>	指標	現在	1年目	2年目	3年目	交流人口(人)	0	60	100	120	売上げ(円)	0	0	330,000	510,000	雇用(人)	0	0	1	1	その他の指標(具体的指標を明記)					指標	4年目	5年目	交流人口(人)	120	120	売上げ(円)	740,000	1,000,000	雇用(人)	1	1	その他の指標(具体的指標を明記)		
	指標	現在	1年目	2年目	3年目																																				
交流人口(人)	0	60	100	120																																					
売上げ(円)	0	0	330,000	510,000																																					
雇用(人)	0	0	1	1																																					
その他の指標(具体的指標を明記)																																									
指標	4年目	5年目																																							
交流人口(人)	120	120																																							
売上げ(円)	740,000	1,000,000																																							
雇用(人)	1	1																																							
その他の指標(具体的指標を明記)																																									
5年後に期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の普及 「佐久間地区」における農産物作付面積、生産量の増加、所得の拡大 ●耕作放棄地の増加抑制 週末農業、新規就農、作付面積の増加による農地の有効利用 ●移住者、二地域居住者、交流人口の増加 異なる意識、価値観を有する都市住民との交流による刺激で、地域の連携強化 ●野生鳥獣による農作物被害の減少 地域ぐるみでの被害対策の取組み、農地の有効活用で被害防止 ○以上の取組みを地域ぐるみで実施することにより、地域コミュニティの活力向上																																								
その他																																									